

えにわ 感染対策チームだより Vol.11

令和3年 6月 20日発行

新型コロナウイルス “変異株”と感染対策



新型コロナウイルスと“変異株”

新型コロナウイルスは、繰り返す世界的な流行により様々な変異株を生みだしています。ウイルスは遺伝子をコピーして増殖するという特徴から、コピーの時に元と異なる遺伝子に書き換えてしまう『変異』が起きることがまれにあります。この時、性質の変化で注意すべきは『感染しやすさ』と『重症化しやすさ』です。

現在では、『感染しやすさ』の増したイギリス株やインド株が話題になっていますが、インド株のように『感染しやすく重症化しやすい』変異株の流行を防ぐことができないと、再び緊急事態宣言が発令されるような状況を招くことになります。

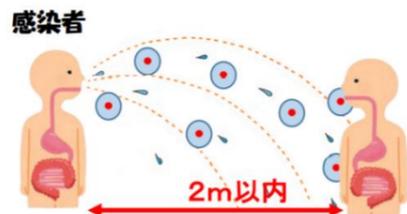
「感染しやすく、重症化しやすい」変異株が流行ると大変！
だから、これまで以上に一つ一つ丁寧な感染対策を行う
必要があるってことね！



変異株と感染経路

『感染しやすさ』を増した変異株の感染拡大を防ぐためには、感染経路を理解した上で感染対策に取り組むことが大切です。

新型コロナウイルスは、感染者の咳やくしゃみ、会話など息を吐くことでも飛沫



として排出されます。これらの飛沫が目・鼻・口の粘膜に直接付着したり、飛沫で汚れた手で粘膜に触れたりすることで感染します。

感染対策の強化

この3つを、すべて継続して行うことが
大事！症状が出てからでは遅い！

1) 手と指をきれいにする

手洗いまたはアルコールによる手指消毒を、食事前、排泄の後、外出から帰った後、自身の目・鼻・口に触れる前に行いましょう。



2) いつでもマスクは外さない

外出時だけでなく、自宅で家族と会話する際にも常にマスクを着用しましょう。



3) 3密を回避する

密閉；換気扇があっても1時間に2回5～10分程度、定期的に換気を行う。

密集；会食は決まった相手と4～5人程度の少人数で行う。

※流行状況に合わせて同居家族以外と会食を避けることも必要です。

密接；1～2m程度のソーシャルディスタンスを意識する。



新型コロナウイルスワクチン 情報アップデート

ワクチン接種には『発症予防および重症化予防』効果に加えて、『感染予防』効果が期待できることが分かってきました。

しかし、完全に『感染しない』保証があるわけではありません。ワクチンを接種しても免疫がつかない人や、ウイルス変異により効果が十分発揮されない可能性もあります。ワクチン接種に加え、マスク着用などの日常的な感染対策も継続して行いましょう。



～ 油断しちゃダメ ワクチンは万能薬ではありません ～

文責：感染管理認定看護師 嶋貫 祐子

〈編集・発行〉

えにわ感染対策チーム **こびりんず**

代表 樋口 秋緒 (恵み野訪問看護ステーション「はあと」)

問合せ先 連携センターりんく (恵庭市在宅医療・介護連携支援センター)

☎ 0123-36-0101



インスタ登録
してね！！



ENIWAKOBIRINZU